

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公表番号】特表2008-502694(P2008-502694A)
 【公表日】平成20年1月31日(2008.1.31)
 【年通号数】公開・登録公報2008-004
 【出願番号】特願2007-516648(P2007-516648)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/69 (2006.01)
 A 6 1 P 31/12 (2006.01)
 A 6 1 P 31/14 (2006.01)
 A 6 1 P 31/22 (2006.01)
 A 6 1 P 31/20 (2006.01)
 A 6 1 P 31/18 (2006.01)
 A 6 1 P 31/16 (2006.01)
 C 0 7 F 5/02 (2006.01)

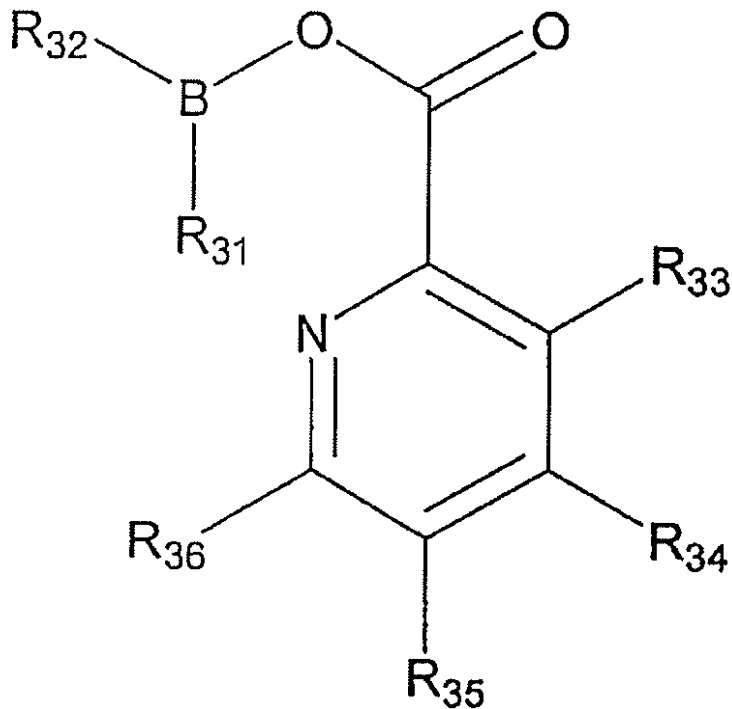
【 F I 】

A 6 1 K 31/69
 A 6 1 P 31/12
 A 6 1 P 31/14
 A 6 1 P 31/22
 A 6 1 P 31/20
 A 6 1 P 31/18
 A 6 1 P 31/16
 C 0 7 F 5/02 C

【手続補正書】
 【提出日】平成20年6月12日(2008.6.12)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

以下の構造を有する化合物もしくは薬剤として許容されるその塩、水和物、または溶媒和物を含む、動物のウイルス疾患を治療するための薬剤組成物。

【化 1】



(式中、

R₃₁ および R₃₂ は、任意選択で置換されたアルキル、任意選択で置換されたアリール、アラルキル、および任意選択で置換されたヘテロアリールからなる群から独立に選択され、

R₃₃ ~ R₃₆ は、水素、アルキル、アリール、アリールカルボニル、アルキルカルボニルオキシ、ヒドロキシ、アルコキシ、アミノ、ジアルキルアミノ、ジアリールアミノ、アルキルアミノ、アリールアミノ、カルボキシアルキルオキシ、ヘテロシクリルオキシ、ヘテロシクリル、カルボキシ、ヒドロキシアルキル、アミノアルキル、(アルキルアミノ)アルキル、(ジアルキルアミノ)アルキル、アルキルオキシカルボニル、カルバモイル、ヒドロキシ、アルコキシ、アリールオキシ、チオ、アルキルチオ、アリールチオ、アルキルスルホニル、アルキルスルフィニル、アリールスルフィニル、ジアルキルスルファモイル、アルキルスルファモイル、スルファモイル、スルホ、シアノ、ハロ、ニトロ、アルキルカルバモイルからなる群から選択され、上記部分のそれぞれは任意選択で置換されており、

R₅ および R₆ は、それらが結合している環原子とともに任意選択で置換された芳香環を形成している)

【請求項 2】

R₃₁ および R₃₂ の 1 つが、任意選択で置換されたアリールである、請求項 1 に記載の薬剤組成物。

【請求項 3】

R₃₁ と R₃₂ の双方が、任意選択で置換されたアリールである、請求項 2 に記載の薬剤組成物。

【請求項 4】

R₃₁ と R₃₂ の双方が、任意選択で置換されたフェニルである、請求項 3 に記載の薬剤組成物。

【請求項 5】

$R_{33} \sim R_{36}$ が、水素、ヒドロキシ、アルコキシ、アミノまたはカルボキシからなる群から独立に選択される、請求項 4 に記載の薬剤組成物。

【請求項 6】

前記任意選択で置換されたフェニルが、水素、アルキル、シクロアルキル、アリール、置換アリール、アラルキル、 $-(CH_2)_k OH$ ($k = 1, 2$ または 3)、 $-CH_2 NH_2$ 、 $-CH_2 NH$ -アルキル、 $-CH_2 N$ (アルキル) $_2$ 、 $-CO_2 H$ 、 $-CO_2$ アルキル、 $-CONH_2$ 、 $-CONH$ アルキル、 $-CON$ (アルキル) $_2$ 、 $-OH$ 、アルコキシ、アリールオキシ、 $-SH$ 、 $-S$ -アルキル、 $-S$ -アリール、 $-S(O)$ アルキル、 $-S(O)$ アリール、 $-SO_2$ アルキル、 $-SO_2 N$ (アルキル) $_2$ 、 $-SO_2 NH$ アルキル、 $-SO_2 NH_2$ 、 $-SO_3 H$ 、 $-SCF_3$ 、 $-CN$ 、ハロゲン、 $-CF_3$ 、 $-NO_2$ 、アミノ、置換アミノ、 $-NH SO_2$ アルキル、 $-OCH_2 CH_2 NH_2$ 、 $-OCH_2 CH_2 NH$ アルキル、 $-OCH_2 CH_2 N$ (アルキル) $_2$ 、オキサゾリジン-2-イル、およびアルキル置換オキサゾリジン-2-イルからなる群から選択される部分で置換されたフェニルである、請求項 5 に記載の薬剤組成物。

【請求項 7】

$R_{33} \sim R_{36}$ の少なくとも 1 つが、ヒドロキシまたはアミノである、請求項 6 に記載の薬剤組成物。

【請求項 8】

R_{33} がヒドロキシであり、 $R_{34} \sim R_{36}$ が水素である、請求項 7 に記載の薬剤組成物。

【請求項 9】

前記任意選択で置換されたフェニルが、水素、ハロゲンおよびアルキルからなる群から選択される部分で置換されたフェニルである、請求項 8 に記載の薬剤組成物。

【請求項 10】

前記ハロゲンが、クロロである、請求項 9 に記載の薬剤組成物。

【請求項 11】

前記アルキルが、メチルである、請求項 10 に記載の薬剤組成物。

【請求項 12】

前記化合物が、(ビス(3-クロロ-4-メチルフェニル)ポリルオキシ)(3-ヒドロキシピリジン-2-イル)メタノンである、請求項 11 に記載の薬剤組成物。

【請求項 13】

前記化合物が前記(ビス(3-クロロ-4-メチルフェニル)ポリルオキシ)(3-ヒドロキシピリジン-2-イル)メタノンの溶媒和物である請求項 12 に記載の薬剤組成物。

【請求項 14】

前記化合物が、前記(ビス(3-クロロ-4-メチルフェニル)ポリルオキシ)(3-ヒドロキシピリジン-2-イル)メタノンの水和物である、請求項 12 に記載の薬剤組成物。

【請求項 15】

前記ウイルス疾患が、ピコルナウイルス科、フラビウイルス科、コロナウイルス科、パライクソウイルス科、オルトミクソウイルス科、レトロウイルス科、ヘルペスウイルス科およびヘパドナウイルス科からなる群から選択されるウイルスに関連している、請求項 1 に記載の薬剤組成物。